

**2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

2020年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

コード番号 8729 URL <https://www.sonyfh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 岡 昌志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 IR部長 (氏名) 清宮 裕晶 TEL 03-5290-6500 (代表)

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	540,626	30.7	20,461	△36.3	13,127	△41.3
2020年3月期第1四半期	413,654	-	32,100	-	22,361	-

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 20,327百万円 (△20.4%) 2020年3月期第1四半期 25,539百万円 (62.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.18	30.17
2020年3月期第1四半期	51.40	51.39

(注) 2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,687,783	681,867	4.3
2020年3月期	15,125,710	691,978	4.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 679,309百万円 2020年3月期 689,512百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	70.00	70.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 当社は、2020年5月19日開催の取締役会において、ソニー株式会社による当社の普通株式及び新株予約権に対する公開買付け(以下「本公開買付け」という)が成立することを条件に、2021年3月期の配当を行わないことを決議しました。その後、2020年7月14日に公表した「支配株主であるソニー株式会社による当社株式等に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」に記載のとおり、2020年7月13日に本公開買付けが成立したため、2021年3月期の配当は行わない予定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,796,000	0.8	96,000	△12.9	63,000	△14.0	144.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	435,087,405株	2020年3月期	435,087,405株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	38,032株	2020年3月期	37,469株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	435,049,750株	2020年3月期1Q	435,025,558株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、9ページの「注意事項」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	4
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
2. 補足情報	
2020年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2020年6月末MCEV	10

※ ソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」）、ソニー損害保険株式会社（以下「ソニー損保」）、ソニー銀行株式会社（以下「ソニー銀行」）は、本日それぞれ2020年度第1四半期業績を発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください（当社ホームページからもご参照いただけます）。

ソニー生命ホームページURL： <https://www.sonylife.co.jp/>  
ソニー損保ホームページURL： <https://www.sonysonpo.co.jp/>  
ソニー銀行ホームページURL： <https://sonybank.net/>

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	549,964	559,700
買入金銭債権	6,006	5,293
金銭の信託	38,067	39,194
有価証券	11,909,172	12,371,221
貸出金	2,187,792	2,271,492
有形固定資産	109,372	109,709
無形固定資産	54,590	53,330
再保険貸	4,936	4,718
外国為替	3,019	11,250
その他資産	221,762	222,562
退職給付に係る資産	3,391	3,489
繰延税金資産	39,210	37,423
貸倒引当金	△1,575	△1,602
資産の部合計	15,125,710	15,687,783
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	10,731,488	11,005,711
支払備金	81,238	78,582
責任準備金	10,645,842	10,922,809
契約者配当準備金	4,407	4,319
代理店借	2,471	1,675
再保険借	5,745	4,654
預金	2,440,783	2,558,346
コールマネー及び売渡手形	151,256	196,241
借入金	241,826	286,530
外国為替	684	517
社債	20,000	20,000
その他負債	747,676	841,642
賞与引当金	4,297	2,048
退職給付に係る負債	34,170	34,230
特別法上の準備金	53,060	53,749
価格変動準備金	53,060	53,749
繰延税金負債	160	459
再評価に係る繰延税金負債	109	109
負債の部合計	14,433,732	15,005,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,994	19,994
資本剰余金	191,224	191,224
利益剰余金	365,869	348,544
自己株式	△55	△56
株主資本合計	577,033	559,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,126	123,021
繰延ヘッジ損益	△373	△241
土地再評価差額金	△2,439	△2,439
退職給付に係る調整累計額	△835	△737
その他の包括利益累計額合計	112,478	119,602
新株予約権	215	231
非支配株主持分	2,250	2,326
純資産の部合計	691,978	681,867
負債及び純資産の部合計	15,125,710	15,687,783

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
経常収益	413,654	540,626
生命保険事業	368,150	491,118
保険料等収入	300,901	273,328
(うち保険料)	300,348	269,742
資産運用収益	64,357	211,721
(うち利息及び配当金等収入)	43,501	47,744
(うち金銭の信託運用益)	1,127	111
(うち売買目的有価証券運用益)	7	41
(うち有価証券売却益)	1,238	—
(うち特別勘定資産運用益)	18,480	163,823
その他経常収益	2,891	6,068
損害保険事業	31,865	35,362
保険引受収益	31,232	35,042
(うち正味収入保険料)	30,418	32,868
(うち積立保険料等運用益)	19	19
(うち支払備金戻入額)	795	2,154
資産運用収益	628	305
(うち利息及び配当金収入)	336	325
(うち有価証券売却益)	311	—
(うち積立保険料等運用益振替)	△19	△19
その他経常収益	4	14
銀行事業	11,856	12,114
資金運用収益	8,399	7,925
(うち貸出金利息)	4,519	4,920
(うち有価証券利息配当金)	3,861	2,986
役務取引等収益	2,525	3,291
その他業務収益	879	768
その他経常収益	51	129
その他	1,782	2,030
その他経常収益	1,782	2,030
経常費用	381,553	520,165
生命保険事業	342,796	480,350
保険金等支払金	109,439	117,362
(うち保険金)	23,320	29,858
(うち年金)	3,318	3,947
(うち給付金)	26,639	31,013
(うち解約返戻金)	52,978	46,682
(うちその他返戻金)	950	963
責任準備金等繰入額	168,995	271,755
支払備金繰入額	444	—
責任準備金繰入額	168,550	271,755
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	16,712	38,592
(うち支払利息)	748	470
(うち金融派生商品費用)	1,579	30,419
(うち為替差損)	13,334	6,283
事業費	37,346	41,547
その他経常費用	10,302	11,092

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
損害保険事業	27,757	28,035
保険引受費用	20,785	20,557
(うち正味支払保険金)	14,183	12,750
(うち損害調査費)	2,088	2,206
(うち諸手数料及び集金費)	342	388
(うち責任準備金繰入額)	4,170	5,211
営業費及び一般管理費	6,971	7,474
その他経常費用	0	3
銀行事業	8,919	9,379
資金調達費用	2,413	1,679
(うち預金利息)	1,965	1,207
役務取引等費用	1,630	2,091
その他業務費用	0	107
営業経費	4,871	5,370
その他経常費用	3	132
その他	2,080	2,398
その他経常費用	2,080	2,398
経常利益	32,100	20,461
特別損失	658	749
固定資産等処分損	42	26
減損損失	1	33
特別法上の準備金繰入額	614	688
価格変動準備金繰入額	614	688
契約者配当準備金繰入額	102	100
税金等調整前四半期純利益	31,339	19,611
法人税及び住民税等	10,311	7,405
法人税等調整額	△1,412	△998
法人税等合計	8,899	6,407
四半期純利益	22,440	13,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,361	13,127

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	22,440	13,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,897	6,894
繰延ヘッジ損益	△57	131
退職給付に係る調整額	139	97
持分法適用会社に対する持分相当額	120	—
その他の包括利益合計	3,099	7,124
四半期包括利益	25,539	20,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,460	20,251
非支配株主に係る四半期包括利益	79	76



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(その他有価証券の評価方法)

当社グループでは、外貨建その他有価証券の区分で保有する債券に係る換算差額について、従来はその他有価証券評価差額金として処理しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、ソニー生命が保有する外貨建債券については、外国通貨による時価の変動に係る換算差額をその他有価証券評価差額金とし、それ以外の差額について為替差損益として処理する方法に変更しております。

ソニー生命は、外貨建保険販売拡大を背景に、当期より外貨建保険における資金流動性に関する資産運用方針の変更を行いました。これにより、外貨建その他有価証券の比重が高まったことによる資産と負債の換算方法の差から生じる期間損益の歪みを軽減し、ソニー生命の為替リスクのヘッジ効果をより適切に反映させるため、会計方針の変更を実施したものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の金額となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書は、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が2,295百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,652百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は87百万円減少し、その他有価証券評価差額金の前期首残高は同額増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益 (注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	368,150	31,865	11,856	411,872	1,782	413,654
(2) セグメント間の内部経常 収益	692	0	75	768	—	768
計	368,842	31,865	11,931	412,640	1,782	414,422
セグメント利益	26,025	3,892	2,438	32,355	△298	32,057

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益 (注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	491,118	35,362	12,114	538,595	2,030	540,626
(2) セグメント間の内部経常 収益	636	0	79	716	—	716
計	491,754	35,363	12,194	539,312	2,030	541,342
セグメント利益	11,350	7,093	2,302	20,745	△368	20,376

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

## 2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメント計	32,355	20,745
「その他」の区分の損益	△298	△368
事業セグメントに配分していない損益 (注)	43	84
四半期連結損益計算書の経常利益	32,100	20,461

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る損益であります。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間よりその他有価証券である外貨建債券に係る換算差額について、為替リスクのヘッジ効果をより適切に反映するため、その他有価証券評価差額金として全部純資産直入法により処理する方法から、外国通貨による時価の変動に係る換算差額をその他有価証券評価差額金とし、それ以外の差額について為替差損益として処理する方法に変更しております。

当該変更は遡及適用され、従来の方法によった場合に比べ、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「生命保険事業」で2,295百万円減少しております。

## 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

当社の連結業績※は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連 結 : ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
 ソニー生命保険株式会社  
 ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社\*  
 SA Reinsurance Ltd.\*  
 ソニー損害保険株式会社  
 ソニー銀行株式会社  
 ソニーペイメントサービス株式会社  
 SmartLink Network Hong Kong Limited  
 SmartLink Network Europe B.V.\*  
 ソニー・ライフケア株式会社  
 ライフケアデザイン株式会社  
 ブラウドライフ株式会社  
 ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社  
 SFV・GB投資事業有限責任組合

\* SmartLink Network Europe B.V. が2020年3月期 第2四半期連結会計期間より、ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社 (旧ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社) およびSA Reinsurance Ltd. が2020年3月期 第4四半期連結会計期間より、新たに連結範囲に含まれております。

**注意事項**

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみを全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

2. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

**2020年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2020年6月末MCEV**

2020年度第1四半期 連結業績 .....	3
2020年度 連結業績予想 .....	17
ソニー生命の2020年6月末MCEV .....	19
ソニー(株)による当社の完全子会社化 .....	22
Appendix .....	24

## 【プレゼンテーション資料】



## 2020年度第1四半期 連結業績および ソニー生命の2020年6月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
2020年8月11日

### AGENDA

2020年度第1四半期 連結業績	P. 3
2020年度 連結業績予想	P. 17
ソニー生命の2020年6月末MCEV	P. 19
ソニー(株)による当社の完全子会社化	P. 22
Appendix	P. 24

#### 免責事項：

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

(注1) 本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示  
また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示

(注2) 「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標

(注3) 2020年度第1四半期よりその他有価証券である外貨建債券に係る換算差額について、為替リスクのヘッジ効果をより適切に反映するため、その他有価証券評価差額金として全部純資産直入法により処理する方法から、外国通貨による時価の変動に係る換算差額をその他有価証券評価差額金とし、それ以外の差額について為替差損益として処理する方法に変更、当該会計方針の変更は2019年度にも遡及適用



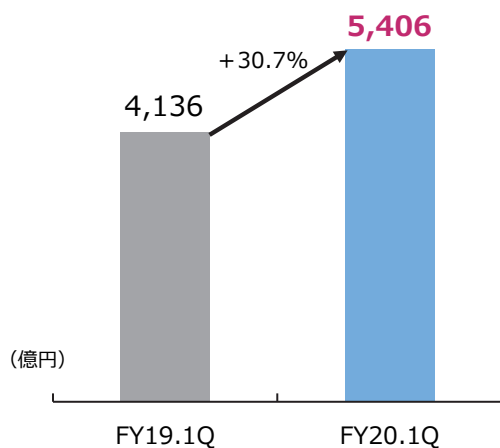
## 2020年度第1四半期 連結業績

### 連結業績ハイライト

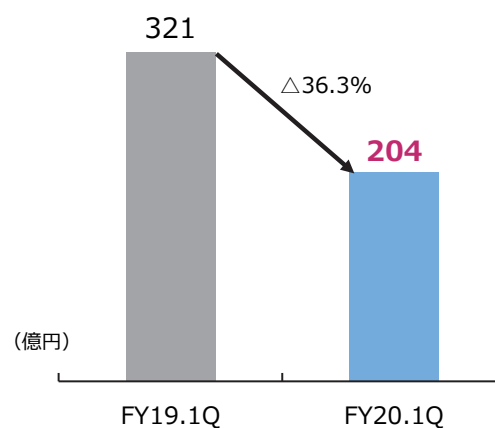


- ◆ 経常収益：生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加したことにより、前年同期比30.7%増加の5,406億円。
- ◆ 経常利益：損害保険事業において増加したものの、生命保険事業および銀行事業において減少したことにより、前年同期比36.3%減少の204億円。

経常収益



経常利益

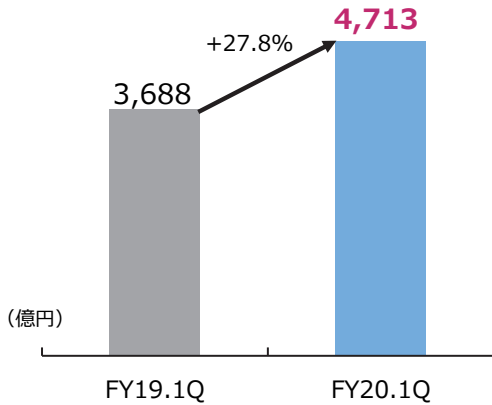


## ソニー生命：業績ハイライト（単体）

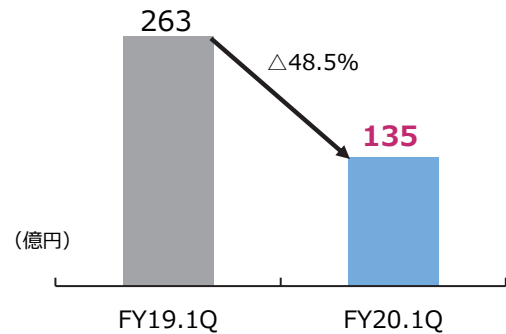
- ◆ 経常収益：特別勘定における運用益の増加により、前年同期比27.8%増加の4,713億円。
- ◆ 経常利益：変額保険の市況の変動などともなう損益\*の悪化、および新型コロナウイルス感染症の拡大ともなう対策費用の計上などにより、前年同期比48.5%減少の135億円。

\* 変額保険の市況の変動などともなう最低保証に係る責任準備金の繰入額およびヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の合計金額

## 経常収益



## 経常利益

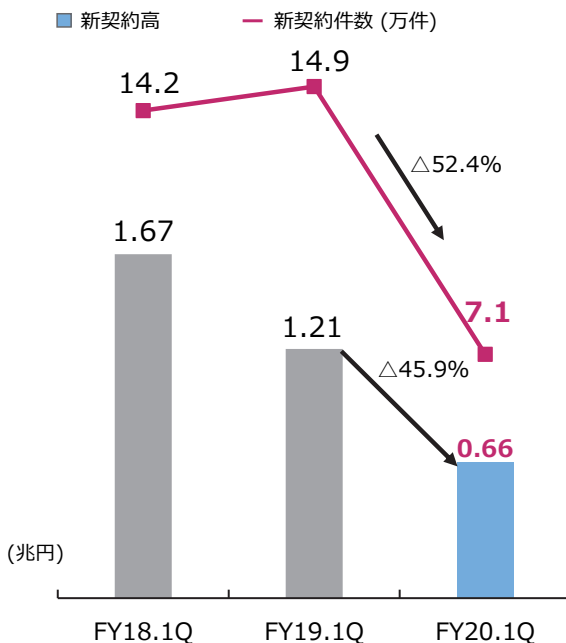
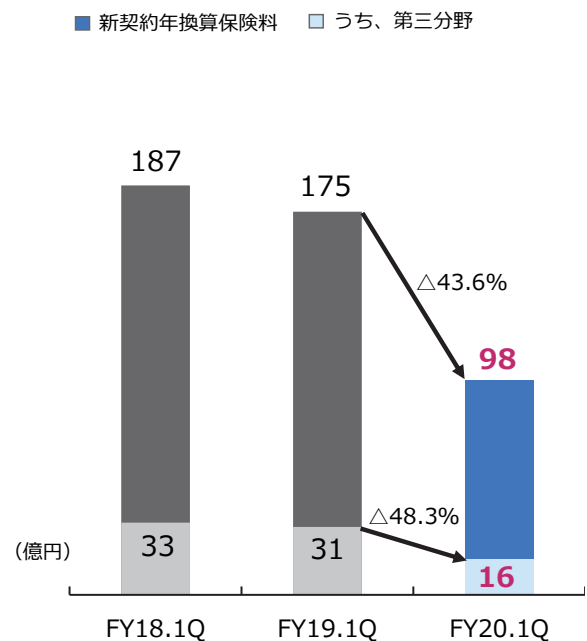


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

5

## ソニー生命：業績（単体）①

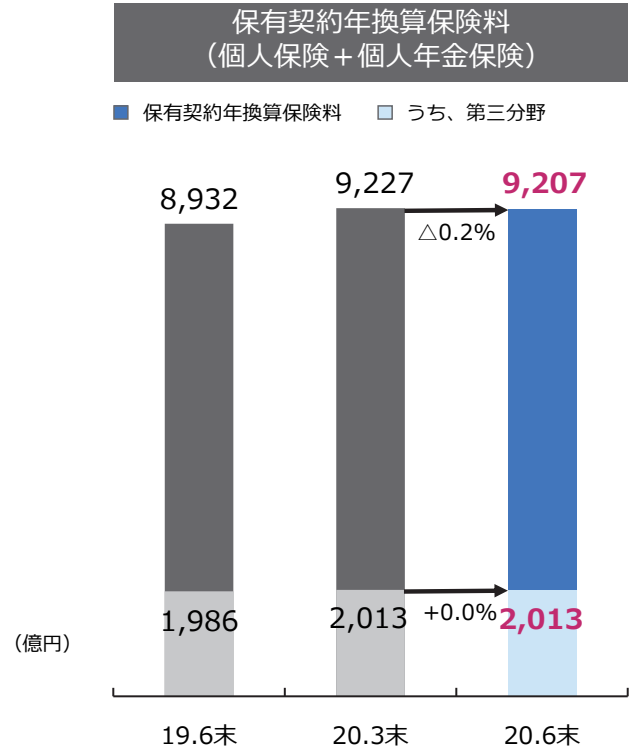
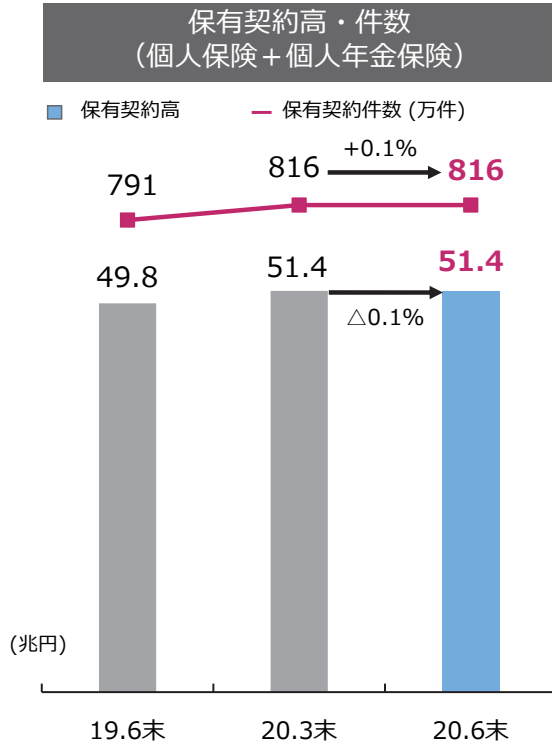
- ◆ 新契約高および新契約年換算保険料：新型コロナウイルス感染症の拡大ともなう営業活動の自粛により、新契約高、新契約年換算保険料はともに減少。

新契約高・件数  
(個人保険+個人年金保険)新契約年換算保険料  
(個人保険+個人年金保険)

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

6

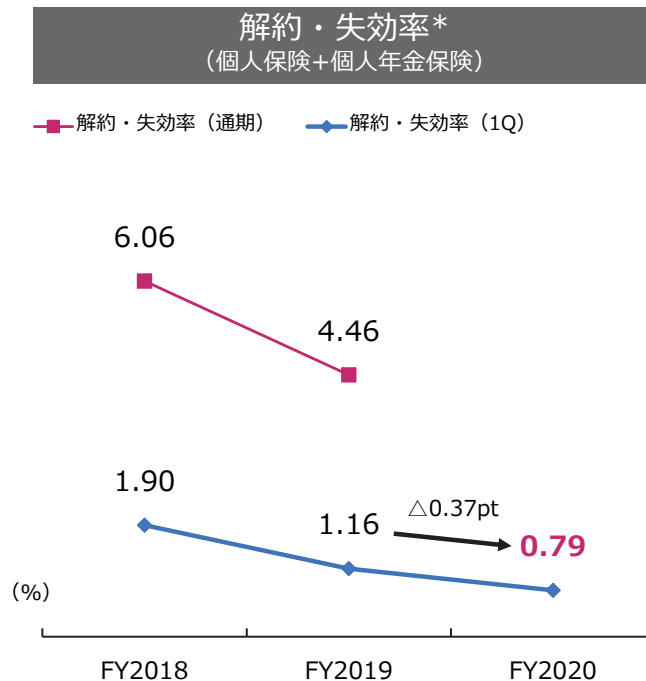
## ソニー生命：業績（単体）②



Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

7

## ソニー生命：業績（単体）③



\* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

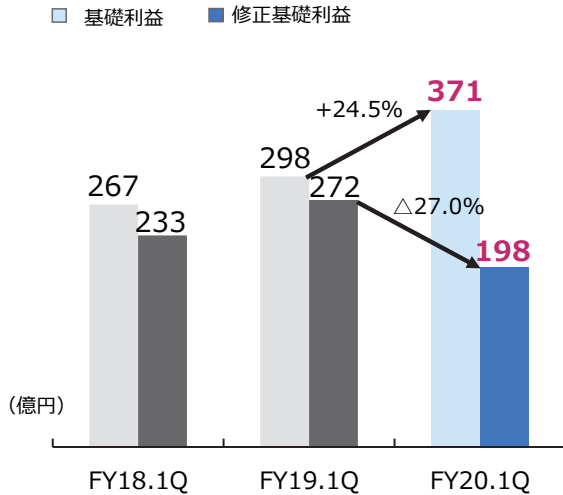
8



## ソニー生命：業績（単体）④

- ◆ 基礎利益：新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう対策費用を計上したものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額が減少したことにより、増加。

## 基礎利益と修正基礎利益



## ◆ 基礎利益の内訳

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	FY20.1Q
順ざや額	42	47	52
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額 (△) *1	△8	△20	120
修正基礎利益 *2	233	272	198

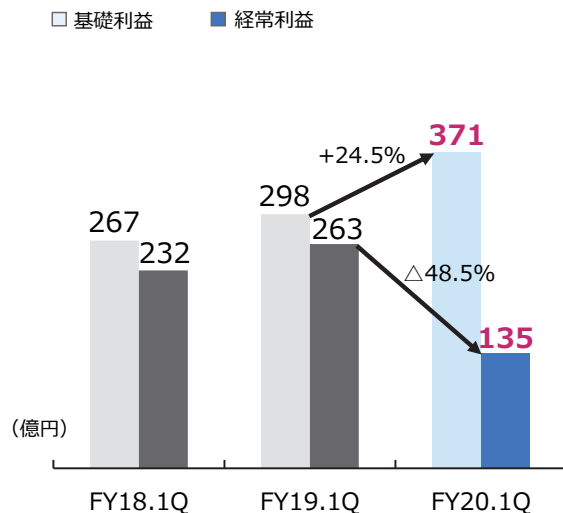
\*1 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額はマイナス表記

\*2 修正基礎利益 = 基礎利益 - 順ざや額 - 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額

## ソニー生命：業績（単体）⑤

- ◆ 経常利益：基礎利益が増加したものの、変額保険に係るヘッジ損益が悪化したことにより、減少。

## 基礎利益と経常利益



## ◆ 基礎利益からの差異

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	FY20.1Q
基礎利益	267	298	371
キャピタル損益 *1	26	2	△9
変額保険に係るヘッジ損益 *2	△39	△14	△207
危険準備金繰入額 (△) *3	△21	△22	△17
その他	△0	△0	△0
経常利益	232	263	135

\*1 キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除く

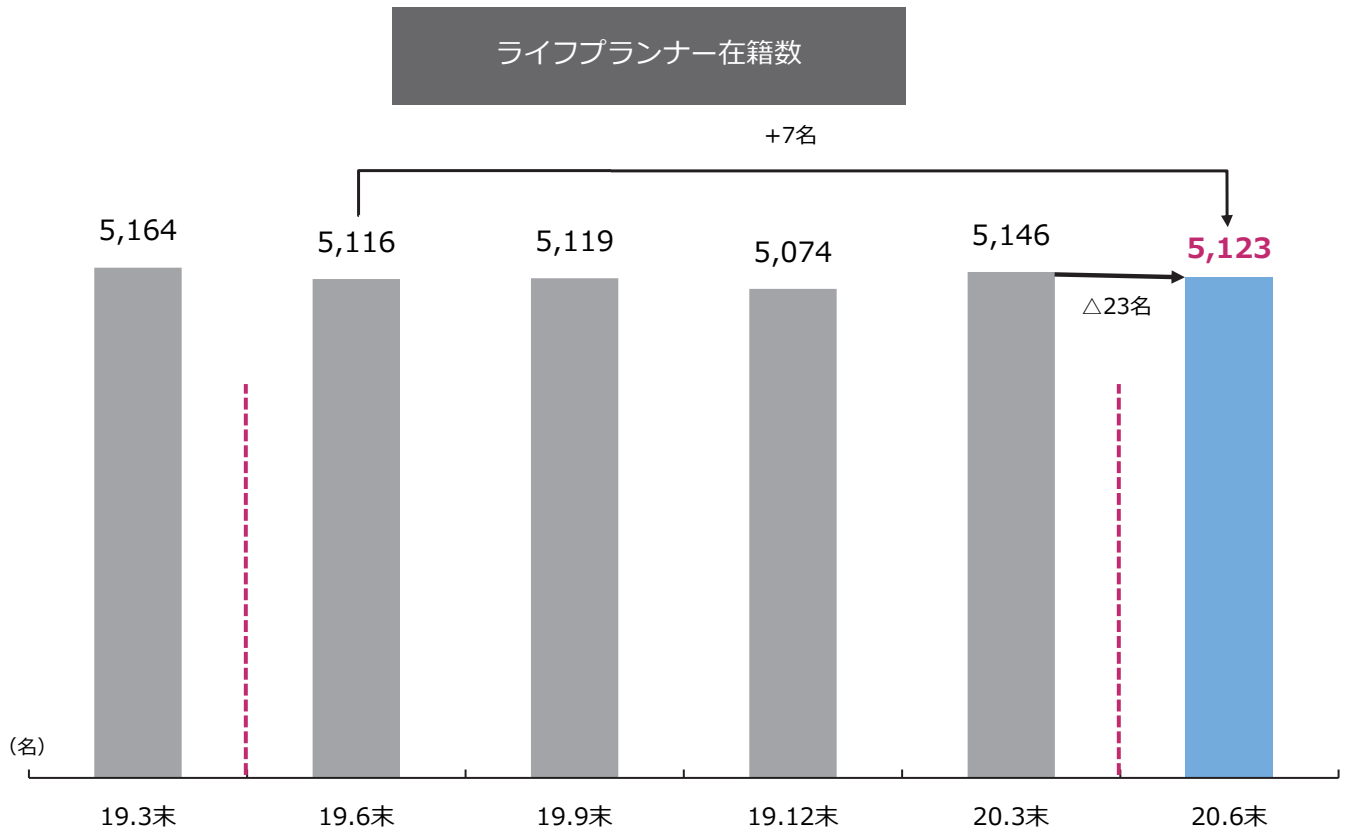
\*2 変額保険に係るヘッジ損益は、P9に記載の変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額のうち、市況の変動による影響を相殺するもの

\*3 危険準備金繰入額はマイナス表記

(注) 変額保険に係るヘッジについて  
日本会計基準と経済価値ベースの評価の違いから、市況の変動などにともない発生した金額は以下のとおり  
詳細についてはP35参照

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	FY20.1Q
変額保険の市況の変動にともなう損益	14	4	△48

## ソニー生命：ライフプランナー在籍数

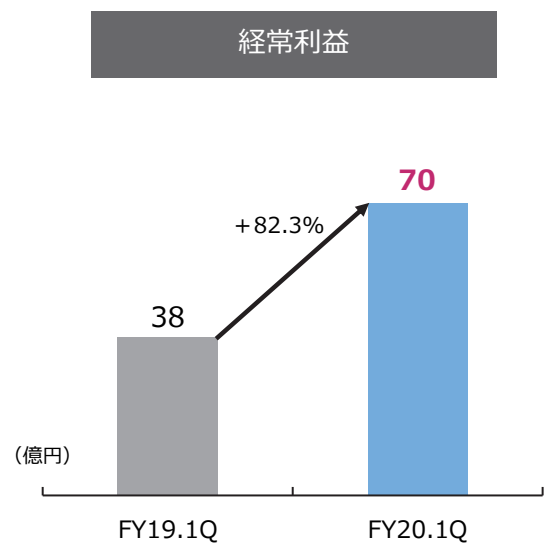
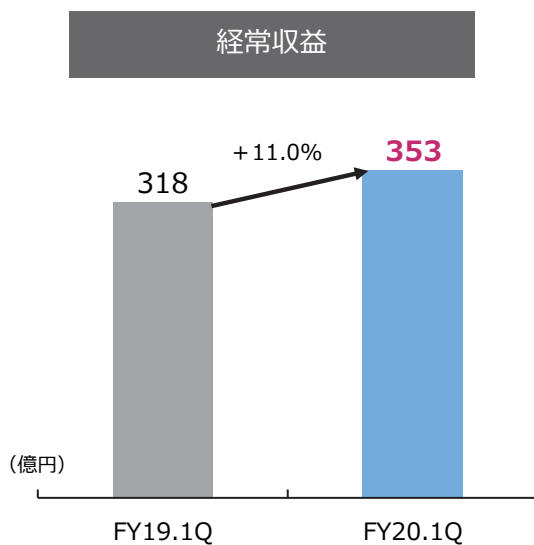


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

11

## ソニー損保：業績ハイライト

- ◆ 経常収益：主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことなどにより、前年同期比11.0%増加の353億円。
- ◆ 経常利益：自動車保険の損害率が低下したことなどにより、前年同期比82.3%増加の70億円。

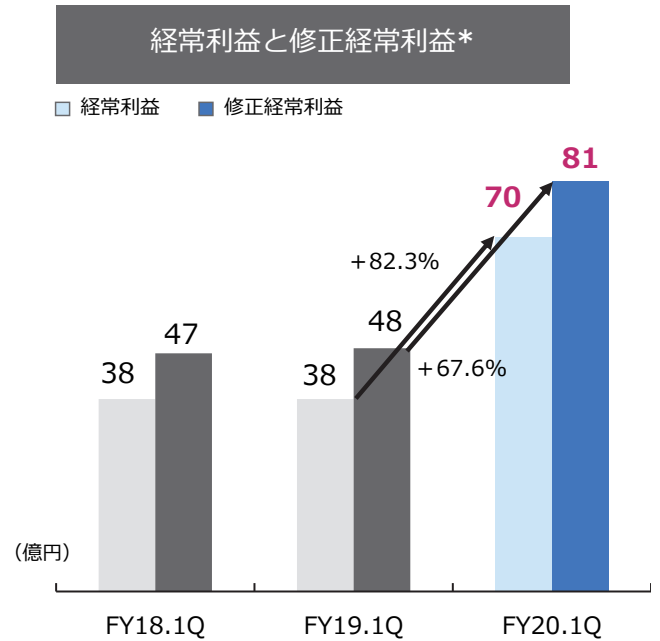
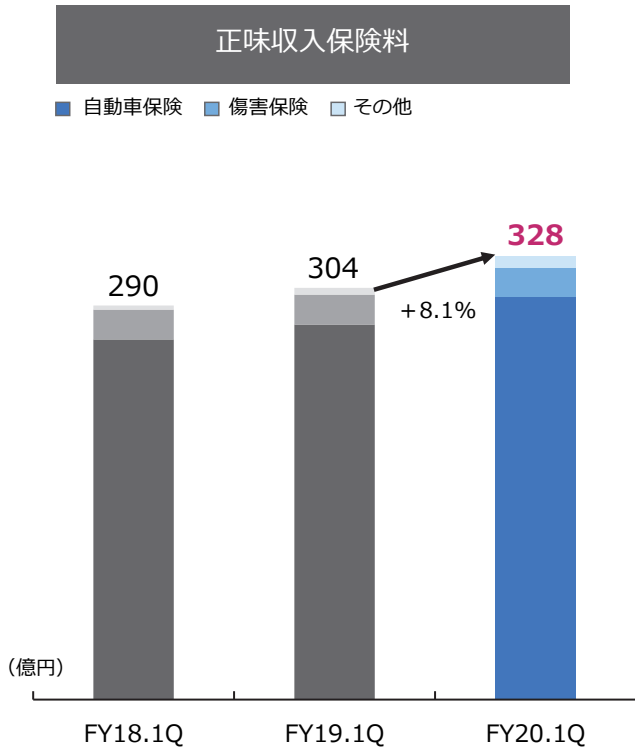


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

12

## ソニー損保：業績 ①

◆ 正味収入保険料：主力の自動車保険の契約獲得が順調に推移したことから、増加。



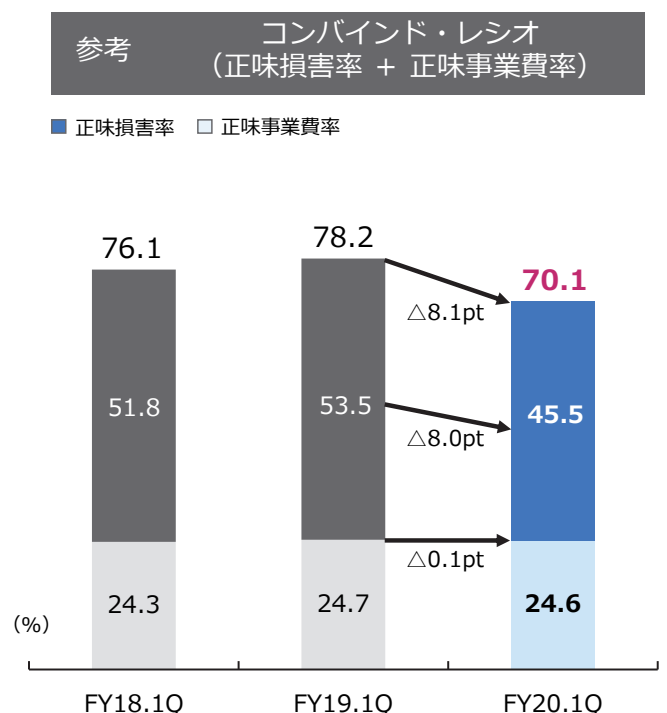
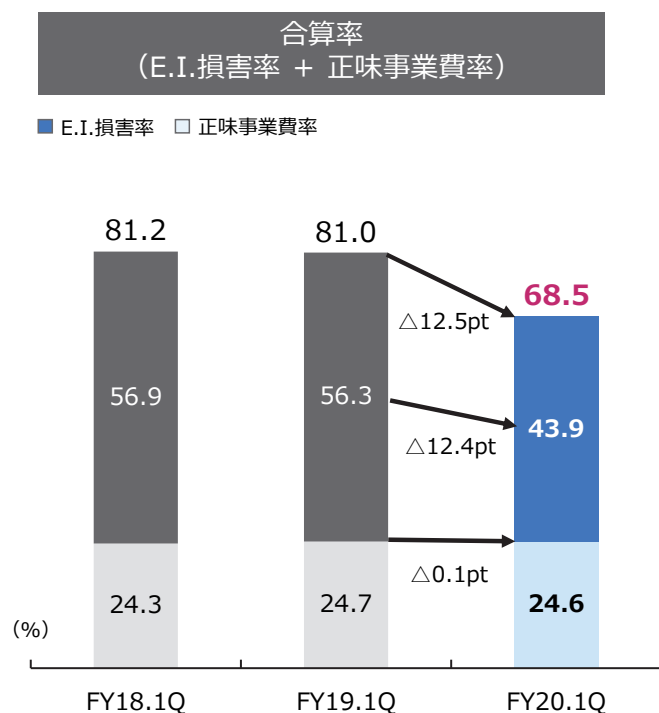
(ご参考) 異常危険準備金繰入状況

	(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	FY20.1Q
異常危険準備金繰入額		9	9	10

(注) 異常危険準備金繰入額はプラス表記

## ソニー損保：業績 ②

◆ 合算率：E.I.損害率が低下し、低下。



(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 [ 除く地震保険、自賠責保険 ]

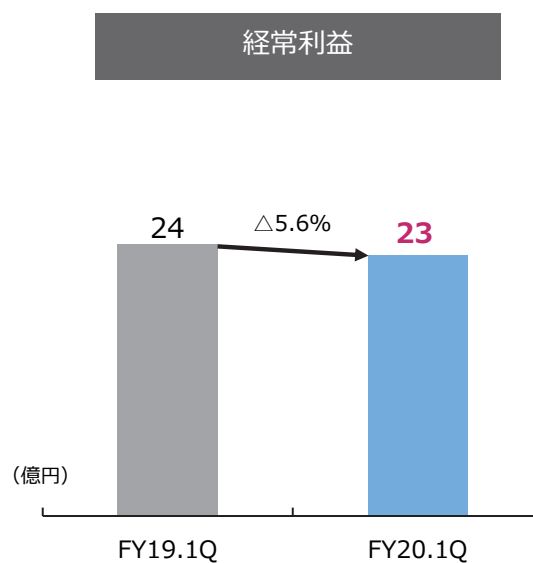
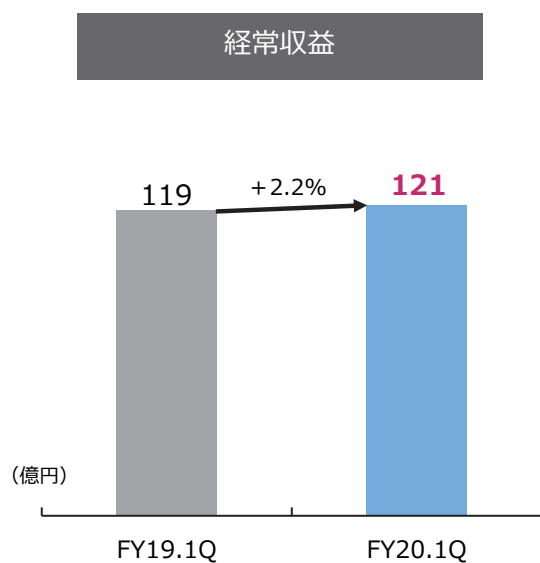
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

## ソニー銀行：業績ハイライト（連結）

- ◆ 経常収益：前年同期比2.2%増加の121億円。
- ◆ 経常利益：前年同期比5.6%減少の23億円。

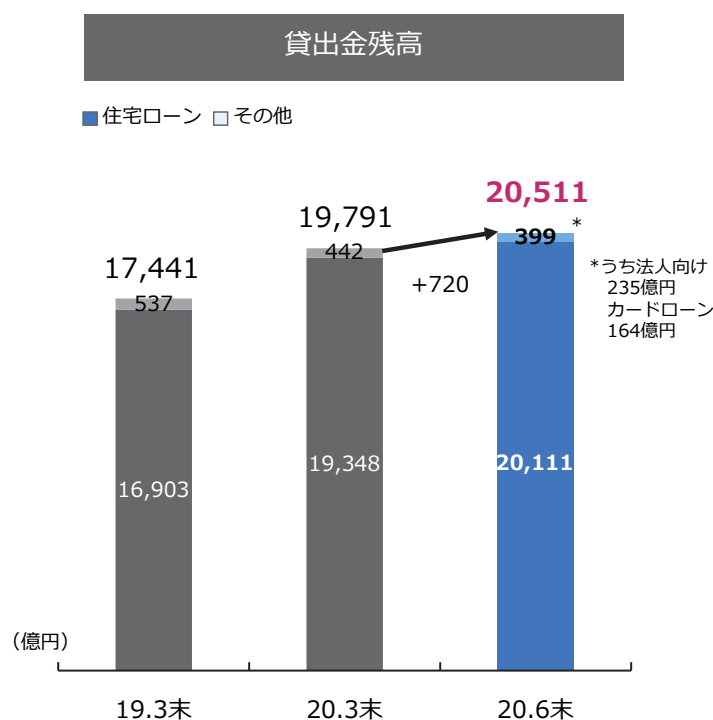
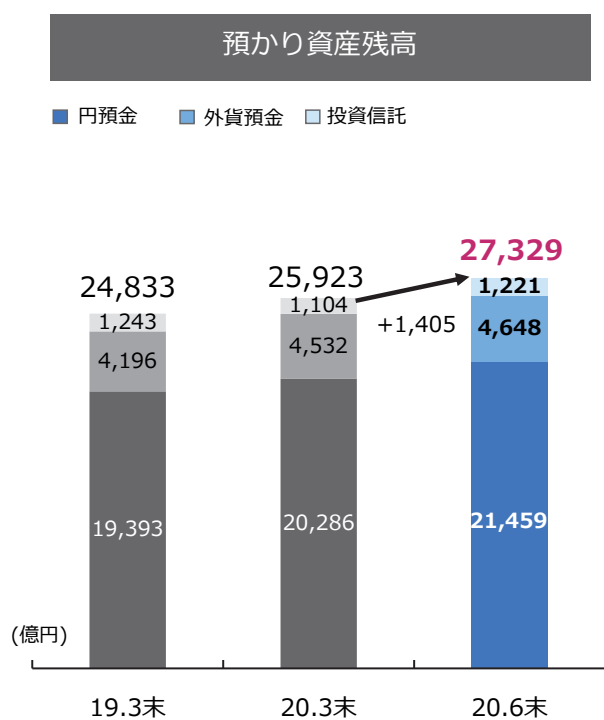


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

15

## ソニー銀行：業績（単体）

- ◆ 預かり資産残高
  - ・円預金：口座数の増加など新規資金の獲得により、増加。
  - ・外貨預金：円高進行にともない米ドル中心に購入が進み、増加。
- ◆ 貸出金残高
  - ・住宅ローンの着実な積上げにより、増加。



Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

16



## 2020年度 連結業績予想

### 2020年度 連結業績予想



経常収益は、ほぼ横ばい。経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、減益の見通し。

- ◆ 経常収益：主に生命保険事業において、特別勘定の運用益が増加するものの、一時払保険を主とする保険料等収入の減少などにより、ほぼ横ばいの見通し。
- ◆ 経常利益：主に生命保険事業において、新契約獲得にかかる費用が減少するものの、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう対策費用の計上などにより、減益の見通し。

(億円)	FY2019 (実績)	FY2020 (予想)	前年度比	
			増減	増減率
経常収益	17,814	<b>17,960</b>	+145	+0.8%
経常利益	1,102	<b>960</b>	△142	△12.9%
親会社株主に 帰属する当期純利益	732	<b>630</b>	△102	△14.0%



## ソニー生命の 2020年6月末MCEV

2020年6月末の数値については、一部簡易な計算を実施しています。  
計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

### ソニー生命：MCEVおよび新契約価値



#### ◆ MCEV増減要因

- ・円金利の上昇などにより、前年度末に比べ112億円の増加。

#### ◆ 新契約価値および新契約マージン

- ・FY20.1Q（3M）の新契約価値は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう営業活動の自粛による販売量の減少などにより、FY19.4Q（3M）に比べ減少し、78億円。
- ・FY20.1Q（3M）の新契約マージンは、金利の上昇などにより、FY19.4Q（3M）に比べ0.5ポイント上昇。

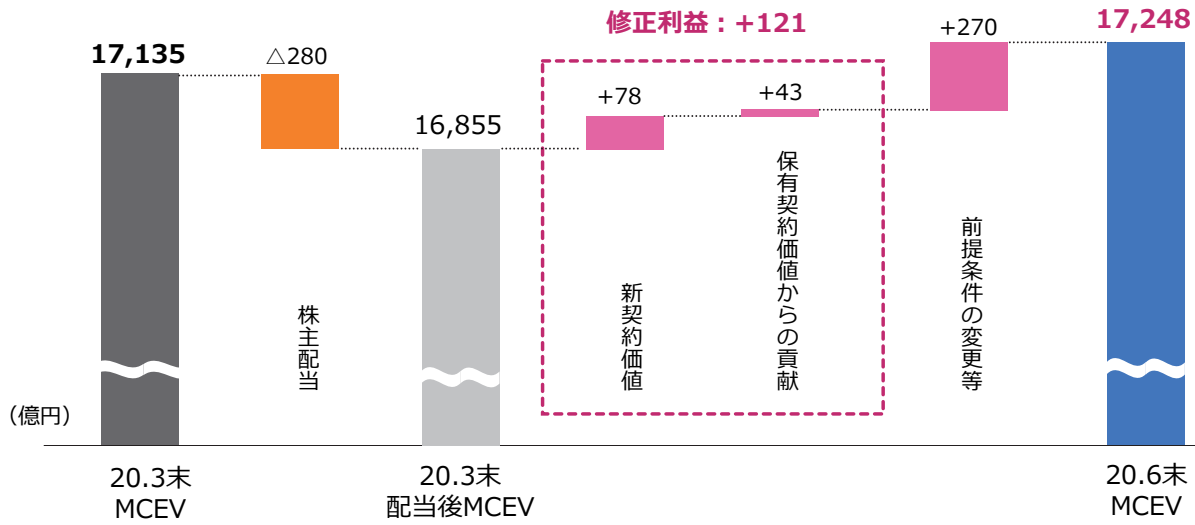
(億円)	20.3末	20.6末	増減 対20.3末
<b>MCEV</b>	17,135	<b>17,248</b>	+112
修正純資産	25,658	<b>22,714</b>	△2,943
保有契約価値	△8,523	<b>△5,466</b>	+3,056

(億円)	FY19.4Q (3M)	FY20.1Q (3M)
<b>新契約価値</b>	178	<b>78</b>
<b>新契約マージン</b>	3.9%	<b>4.4%</b>

(注) 2020年6月末のMCEVの計算は、2020年3月末の前提条件から、主に経済前提と解約・失効率をアップデート

※国債レートやイールドカーブについては、P42-45参照

## ソニー生命：2020年度第1四半期のMCEVの主な変動要因



(注) 前提条件の変更等の内訳は、保険関係の前提条件の変更：△216億円、経済的前提条件等の変更（金利変動を含む）：+487億円

## ソニー(株)による当社の完全子会社化

- ◆ 5月19日：支配株主であるソニー(株)が当社株式等に対する公開買付けを発表
    - 公開買付期間：2020年5月20日～7月13日
  - ◆ 7月14日：ソニー(株)が公開買付け結果を発表
    - 買付け等後におけるソニー(株)の当社への出資比率：93.47%  
(自己株式を除く、7月20日時点)
  - ◆ 7月20日：当社がソニー(株)による株式売渡請求の承認を決議
- 今後のスケジュール（予定）
- 7月20日～8月30日：東京証券取引所整理銘柄指定
  - 8月28日：売買最終日
  - 8月31日：上場廃止日
  - 9月2日：ソニー(株)が売渡株式を取得、当社を完全子会社化

## Appendix |

- ◆ ソニーフィナンシャルグループ
  - 連結修正利益および連結修正資本の内訳
  - 連結修正ROEの内訳
  - 連結修正ROEの算式
  - 主要KPIのアップデート
  - 健全性指標
  - クロスセルの状況
- ◆ ソニー生命
  - 商品構成
  - 資産運用
  - 一般勘定資産内訳
  - 利配収入内訳
  - キャピタル損益内訳
  - 新契約高の四半期推移
  - 新契約年換算保険料の四半期推移
  - 新契約価値の四半期推移
- ◆ ソニーフィナンシャルグループ
  - グループ連結ESRの考え方
- ◆ ソニー生命
  - ESR
  - 年金事業の業績
  - 日本国債レートの推移
  - リスクフリーレートの推移（日本円）
  - 米国債レートの推移
  - リスクフリーレートの推移（米ドル）
- ◆ 各社業績データ（要約財務諸表等）
  - SFH連結・ソニー生命・ソニー損保・ソニー銀行



## 連結修正利益および連結修正資本の内訳

### ◆ 修正利益

ソニーフィナンシャルグループ (連結) (億円)	FY2019 (12M)	FY19.1Q (3M)	FY20.1Q (3M)
<b>連結修正利益</b>	979	259	<b>195</b>

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2019 (12M)	FY19.1Q (3M)	FY20.1Q (3M)
新契約価値 *	669	170	<b>78</b>
保有契約価値からの貢献 *	157	37	<b>43</b>
<b>修正利益</b>	826	208	<b>121</b>

ソニー損保 (億円)	FY2019 (12M)	FY19.1Q (3M)	FY20.1Q (3M)
当期 (四半期) 純利益	58	27	<b>50</b>
異常危険準備金繰入額 (税後)	23	7	<b>7</b>
価格変動準備金繰入額 (税後)	0	0	<b>0</b>
<b>修正利益</b>	81	34	<b>58</b>

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2019 (12M)	FY19.1Q (3M)	FY20.1Q (3M)
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	70	16	<b>15</b>

\* FY19.1QおよびFY20.1Qは、計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください

### ◆ 修正資本

ソニーフィナンシャルグループ (連結) (億円)	FY2019	FY19.1Q	FY20.1Q
<b>連結修正資本</b>	18,464	18,118	<b>18,492</b>

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2019	FY19.1Q	FY20.1Q
<b>修正資本</b> (MCEVの期中平均値 配当控除後)	17,008	16,696	<b>17,051</b>

ソニー損保 (億円)	FY2019	FY19.1Q	FY20.1Q
<b>修正資本</b> (以下の期中平均値 「純資産の部 + 異常危険準備金 (税後) + 価格変動準備金 (税後)」)	553	532	<b>596</b>

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2019	FY19.1Q	FY20.1Q
<b>修正資本</b> (純資産の部の期中平均値)	902	889	<b>844</b>

## 連結修正ROEの内訳

	FY2019 (12M)	FY19.1Q (3M)	FY20.1Q (3M)
<b>連結修正ROE</b>	5.3%	1.4%	<b>1.1%</b>
(ソニー生命) コアROEV	4.9%	1.2%	<b>0.7%</b>
(ソニー損保) 修正ROE	14.7%	6.5%	<b>9.8%</b>
(ソニー銀行) ROE	7.8%	1.8%	<b>1.8%</b>

## 連結修正ROEの算式

保険事業や銀行事業などグループ各社の業態が異なるため、各事業ごとに、修正利益および修正資本に基づく「修正ROE」を算出し、企業価値や資本効率の的確な把握に努める。グループ各社の修正ROEの算式は以下のとおり。

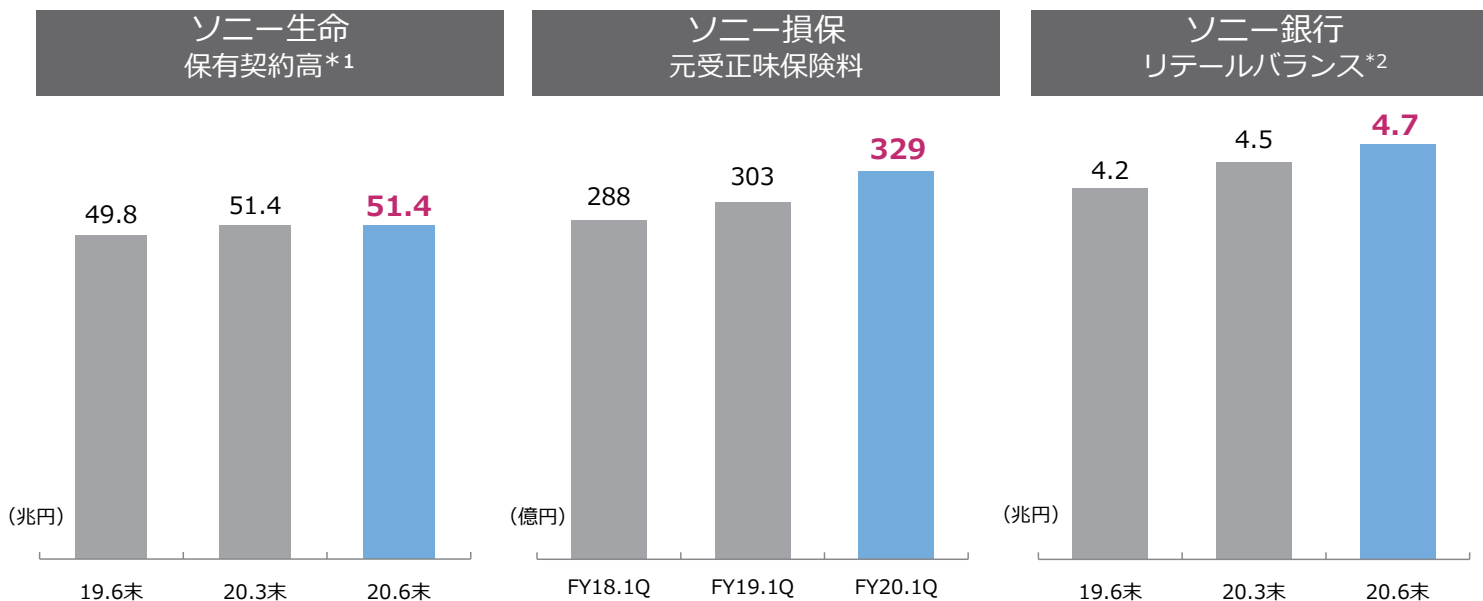
ソニーフィナンシャルグループ *			
	ソニー生命 コアROEV	ソニー損保 修正ROE	ソニー銀行 ROE
分子 (修正利益)	新契約価値 + 保有契約価値からの貢献 ①	当期純利益 + 異常危険準備金繰入額 (税後) + 価格変動準備金繰入額 (税後) ②	親会社株主に帰属する 当期純利益 ③
分母 (修正資本)	MCEVの期中平均値 (配当控除後) ④	以下の期中平均値 (純資産の部) + 異常危険準備金 (税後) + 価格変動準備金 (税後) ⑤	純資産の部の期中平均値 ⑥

\* グループの連結修正ROE = 連結修正利益 ÷ 連結修正資本

連結修正利益 = ① + ② + ③

連結修正資本 = ④ + ⑤ + ⑥

## 主要KPIのアップデート



\*1 個人保険、個人年金保険の合計

\*2 預金、投資信託、金融商品仲介、投資一任契約媒介、個人ローンの合算

## 健全性指標

(%)	19.3末	20.3末	20.6末	前年度末比
ソニー生命（単体） ソルベンシー・マージン比率	2,590.5%	2,476.3%	<b>2,426.6%</b>	△49.7pt
ソニー損保 ソルベンシー・マージン比率	813.0%	872.3%	<b>972.6%</b>	+100.3pt
ソニー銀行（単体） 自己資本比率（国内基準）	9.58%	8.85%	<b>8.65%</b>	△0.20pt

（注）比率は、表示単位未満切捨て表示

## クロスセルの状況

## ◆ ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローン取扱い状況

FY20.1Q (3M)の住宅ローン新規融資実行金額の9%

2020年6月末の住宅ローン残高の17%

（注）銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



## ◆ ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

FY20.1Q (3M)の新規自動車保険契約件数の6%

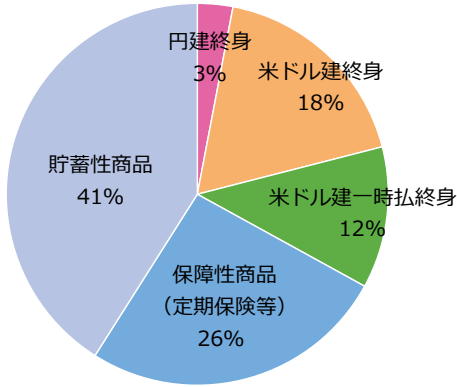
（注）自動車保険取扱い開始：2001年5月



# ソニー生命：商品構成（商品種別別新契約年換算保険料）

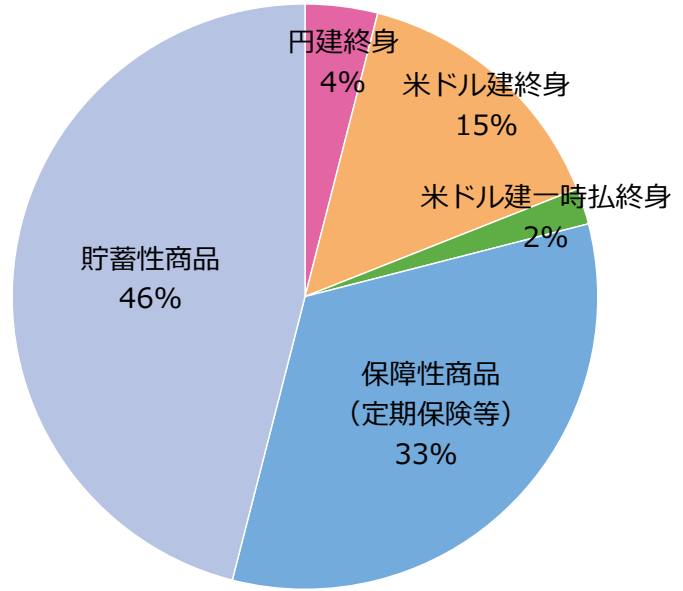
FY19.1Q (3M)

175億円



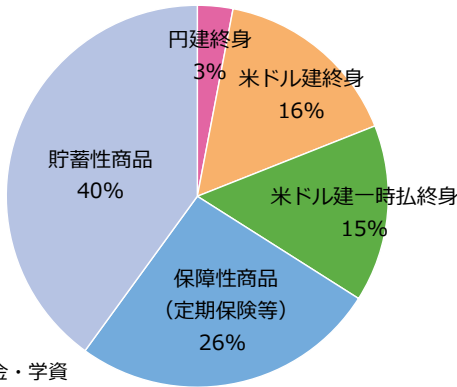
FY20.1Q (3M)

98億円



FY19 (12M)

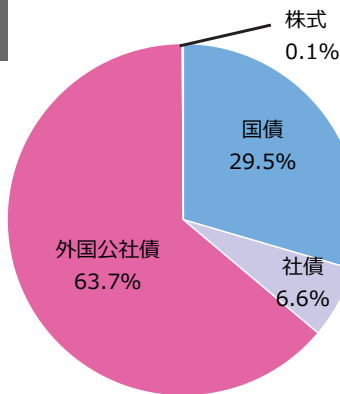
821億円



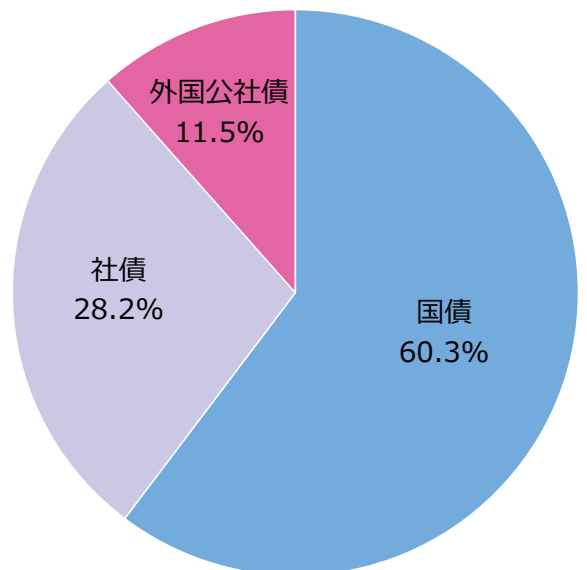
(注) 貯蓄性商品：養老・年金・学資

# ソニー生命：資産運用（一般勘定資産における有価証券の購入）

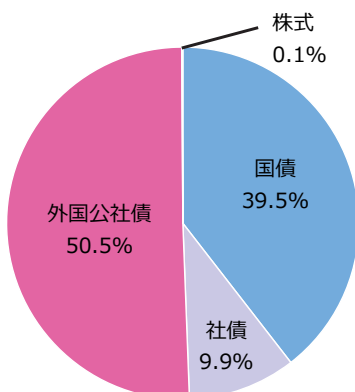
FY19.1Q (3M)



FY20.1Q (3M)



FY19 (12M)



(注1) 社債には、財投機関債、政府保証債を含む  
 (注2) 上記の表は対象期間の購入金額を100%とした資産配分（子関連出資・政策投資を除く）

## ソニー生命：一般勘定資産内訳

### ◆ 資産運用状況

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続

(億円)	20.3末		20.6末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	83,645	84.4%	<b>85,147</b>	<b>84.5%</b>
株式	280	0.3%	<b>294</b>	<b>0.3%</b>
外国公社債	9,669	9.8%	<b>9,833</b>	<b>9.8%</b>
外国株式等	286	0.3%	<b>281</b>	<b>0.3%</b>
約款貸付	2,080	2.1%	<b>2,197</b>	<b>2.2%</b>
不動産*	925	0.9%	<b>923</b>	<b>0.9%</b>
現預金・コールローン	798	0.8%	<b>488</b>	<b>0.5%</b>
その他	1,462	1.5%	<b>1,644</b>	<b>1.6%</b>
合計	99,149	100.0%	<b>100,810</b>	<b>100.0%</b>

### ◆ 円建債券のDuration

2019.3末	21.8年
2020.3末	21.8年
2020.6末	21.5年

\*「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上

## ソニー生命：利配収入内訳

(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比
公社債	33,011	<b>34,597</b>	+4.8%
株式	81	<b>29</b>	△64.2%
外国証券	6,141	<b>8,907</b>	+45.1%
貸付	1,736	<b>1,688</b>	△2.8%
不動産	2,422	<b>2,415</b>	△0.3%
その他	109	<b>105</b>	△3.5%
合計	43,501	<b>47,743</b>	+9.8%

## ソニー生命：キャピタル損益内訳

(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q
<b>キャピタル費用</b>	14,939	<b>28,891</b>
金融派生商品費用	1,579	<b>21,981</b>
変額保険に係るヘッジ損…(1)	1,781	<b>20,878</b>
其他有価証券に係るヘッジ損…(2)	△222	<b>1,109</b>
米ドル建保険関係の為替差損…(4)	7	△29
為替差損	13,334	<b>6,680</b>
米ドル建保険関係の為替差損…(4)	13,660	<b>6,769</b>
変額保険に係るヘッジ損…(1)	△333	△120
其他キャピタル費用	25	<b>229</b>
PEF減損	25	<b>229</b>

## ◆ 主な項目のキャピタル損益（純額）

(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q
(1)変額保険に係るヘッジ損益	△1,447	△ <b>20,758</b>
(2)其他有価証券に係るヘッジ損益	222	△ <b>1,109</b>
(3)有価証券売却損益	1,238	—
(4)米ドル建保険関係損益	△1,170	<b>398</b>

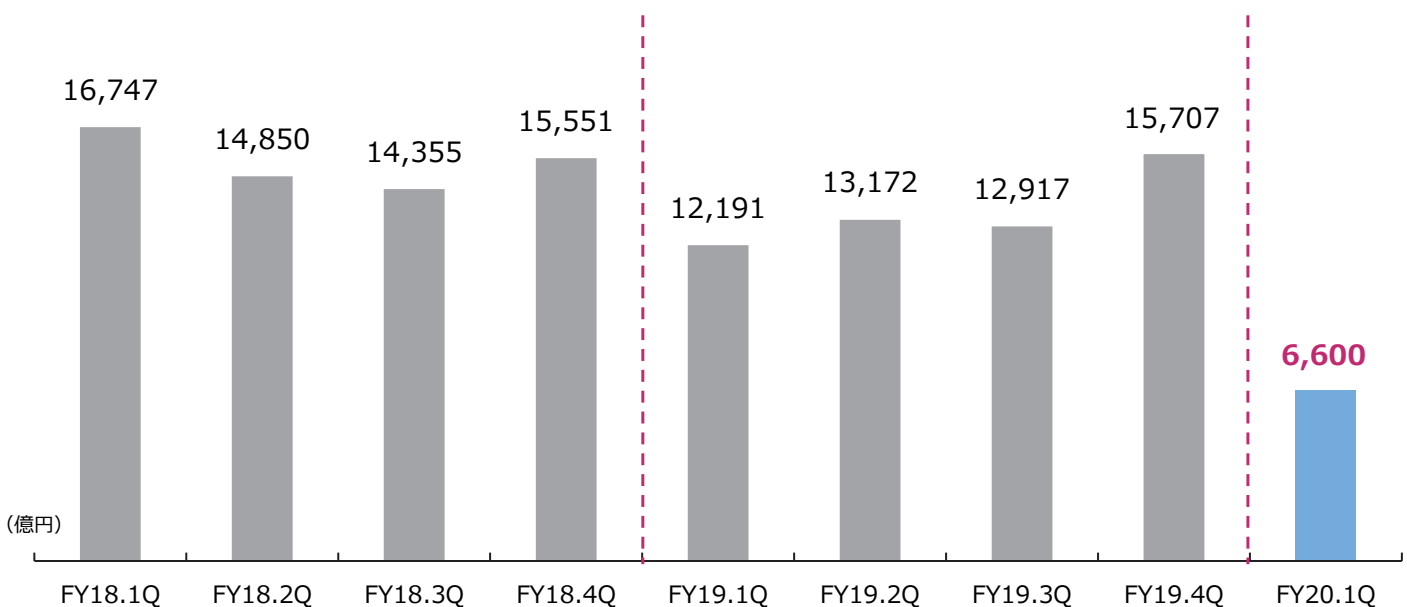
(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q
<b>キャピタル収益</b>	13,741	<b>7,137</b>
売買目的有価証券運用益	5	—
有価証券売却益…(3)	1,238	—
其他キャピタル収益	12,497	<b>7,137</b>
米ドル建保険関係の為替変動に係る責任準備金等戻入額…(4)	12,497	<b>7,137</b>
<b>キャピタル損益</b>	△1,197	△ <b>21,753</b>

(注1) 売買目的有価証券運用益（損）、金融派生商品収益（費用）、為替差益（差損）は、それぞれ相殺後の金額を計上

(注2) 変額保険に係るヘッジおよび米ドル建保険関係の為替変動に係るヘッジは、実態に近い経済価値ベースの資本の変動を抑えることをより重視し、2019年度にヘッジ比率を引き上げ日本会計基準の責任準備金などの評価が、経済価値ベースの評価から乖離していることから、会計上の利益は市況の影響を受けやすい状況

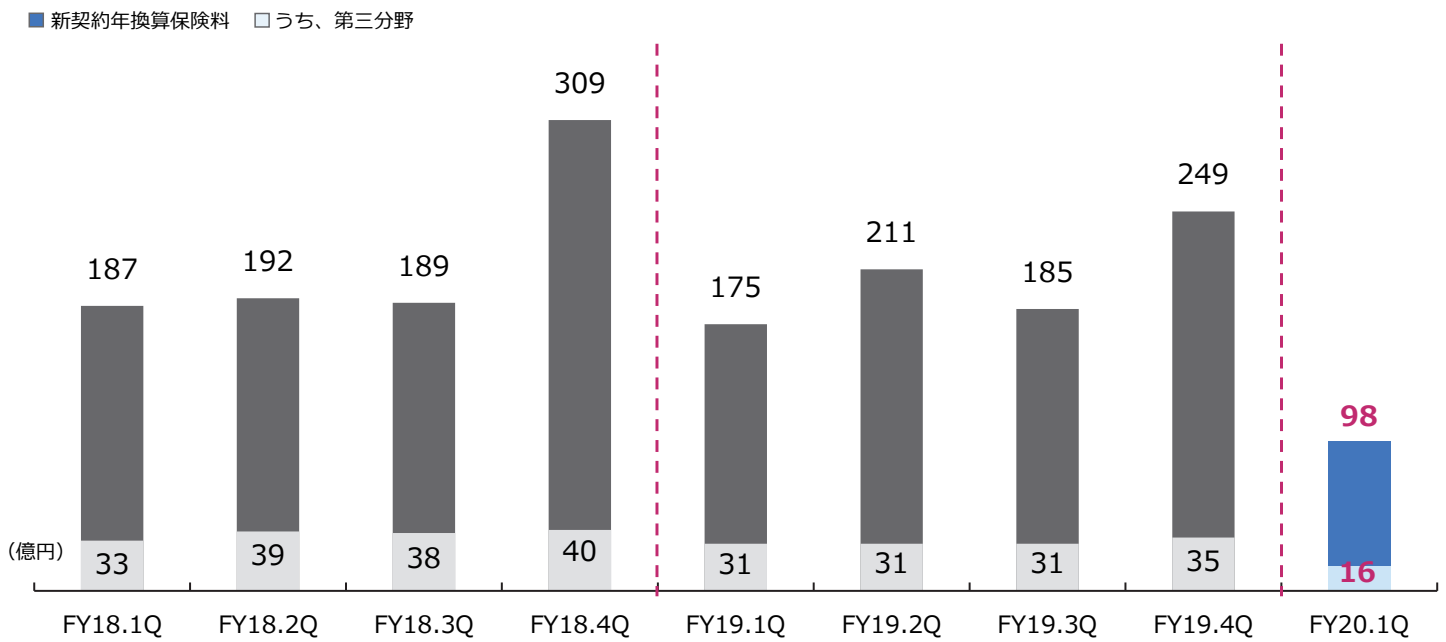
- ・ 変額保険に係るヘッジ損益(1)と、ヘッジ対象である負債の変動を相殺した後の損益はP10参照
- ・ 米ドル建保険に係るヘッジ損益と、ヘッジ対象である負債の変動を相殺した後の損益は左表「◆主な項目のキャピタル損益（純額）」の(4)参照

## ソニー生命：新契約高の四半期推移



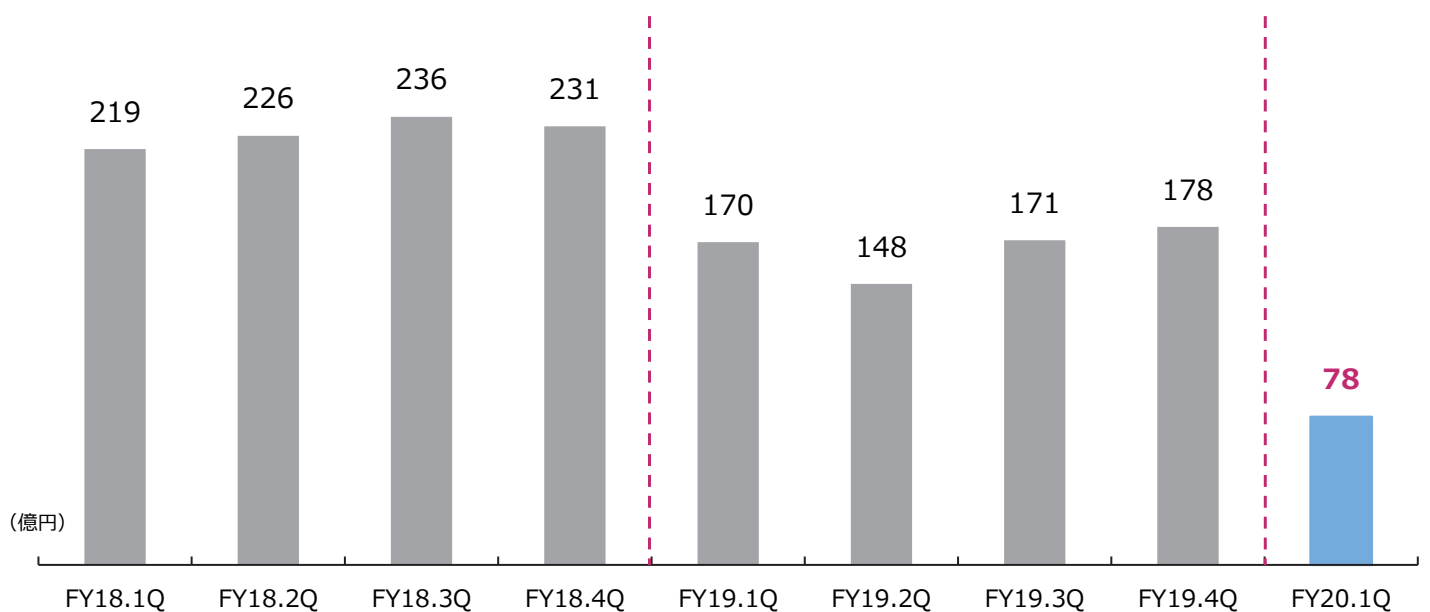
(注) 個人保険、個人年金保険の合計

## ソニー生命：新契約年換算保険料の四半期推移



(注) 個人保険、個人年金保険の合計

## ソニー生命：新契約価値の四半期推移

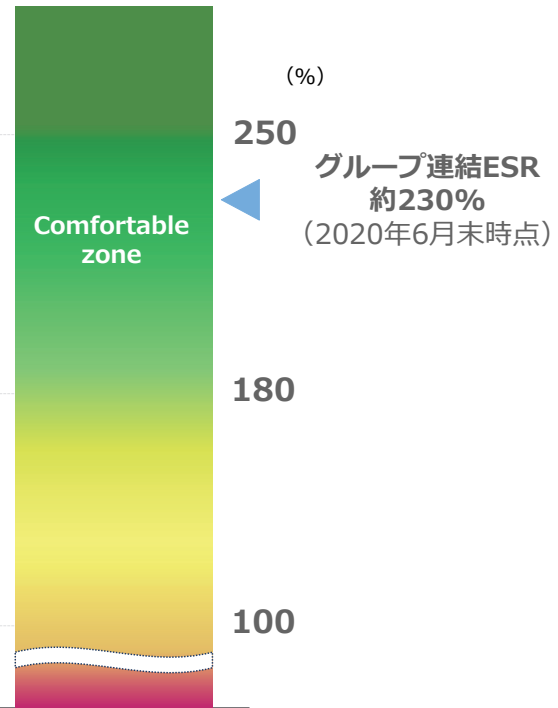


(注) 新契約価値は、各月の新契約を各月末の経済前提で評価

# グループ連結ESRの考え方

◆ グループ連結ESR：グループのリスク量に対する資本充実度を示したものであり、当社グループとしてERMにおける健全性確保と資本効率の観点から当面目指す水準は180%~250%。

- 成長投資・追加的リスクテイク・株主還元拡大等の実施
- 成長投資・追加的リスクテイク・株主還元への柔軟な対応を検討
- リスク削減と利益留保による資本水準の回復
- 資本増強の検討・株主還元見直し



(注1) 当該グループ連結ESR（社内管理指標）は、大局的な経営判断に役立てることを目的に欧州ソルベンシー II やICSの計算方法を参考に算出  
一部で簡易的な計算方法を採用しており、計算プロセス及び結果の妥当性に関しては、第三者の検証等は受けておりません  
(注2) ソニー生命のESRについては、P40参照

# ソニー生命：ESR



- ◆ 経済価値ベースのリスク量は、主に金利の上昇により保険リスクが減少したことで、前年度末に比べ288億円減少し、7,764億円。
- ◆ ESRは、経済価値ベースのリスク量が減少したことなどにより、前年度末に比べ9ポイント上昇し、226%。

(億円)	20.3末	20.6末	増減 対20.3末
保険リスク	6,076	<b>5,688</b>	△388
市場関連リスク	3,349	<b>3,491</b>	+142
うち金利リスク	1,785	<b>2,023</b>	+238
オペレーショナルリスク	403	<b>372</b>	△31
カウンターパーティリスク	38	<b>34</b>	△3
分散効果	△1,815	△ <b>1,823</b>	△7
<b>経済価値ベースのリスク量</b>	8,052	<b>7,764</b>	△288

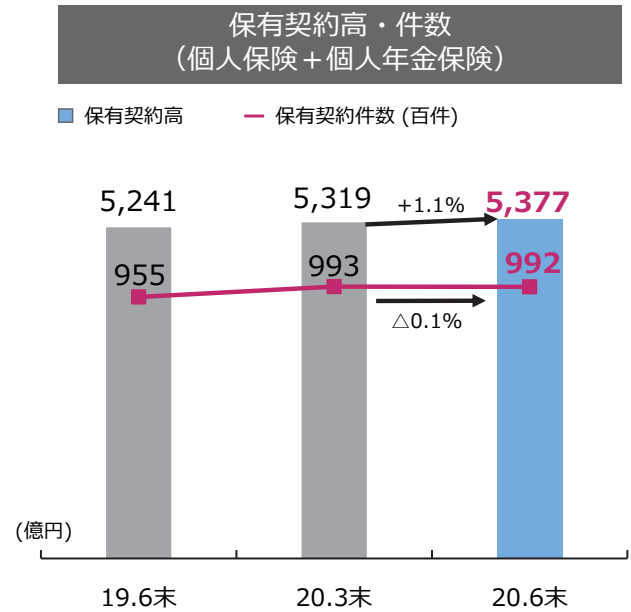
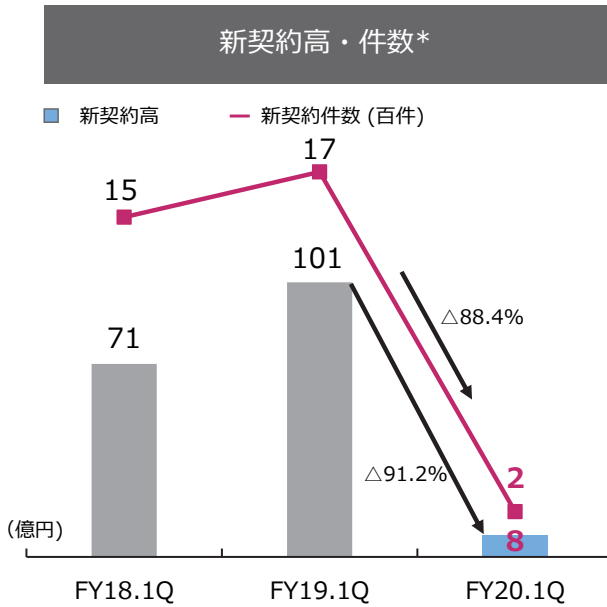
(億円)	20.3末	20.6末	増減 対20.3末
<b>MCEV+フリクショナル・コスト</b>	17,433	<b>17,534</b>	+100
<b>ESR</b>	216%	<b>226%</b>	+9pt

(注1) 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク（保険リスク、市場関連リスクなど）を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量  
(注2) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、内部モデルを採用  
(注3) 金利リスクは、市場関連リスク内での分散効果考慮前のリスク量  
(注4) ESRは「(MCEV+フリクショナル・コスト) / 経済価値ベースのリスク量」



# 年金事業の業績

## ◆ソニーライフ・ウィズ生命の新契約高および保有契約高



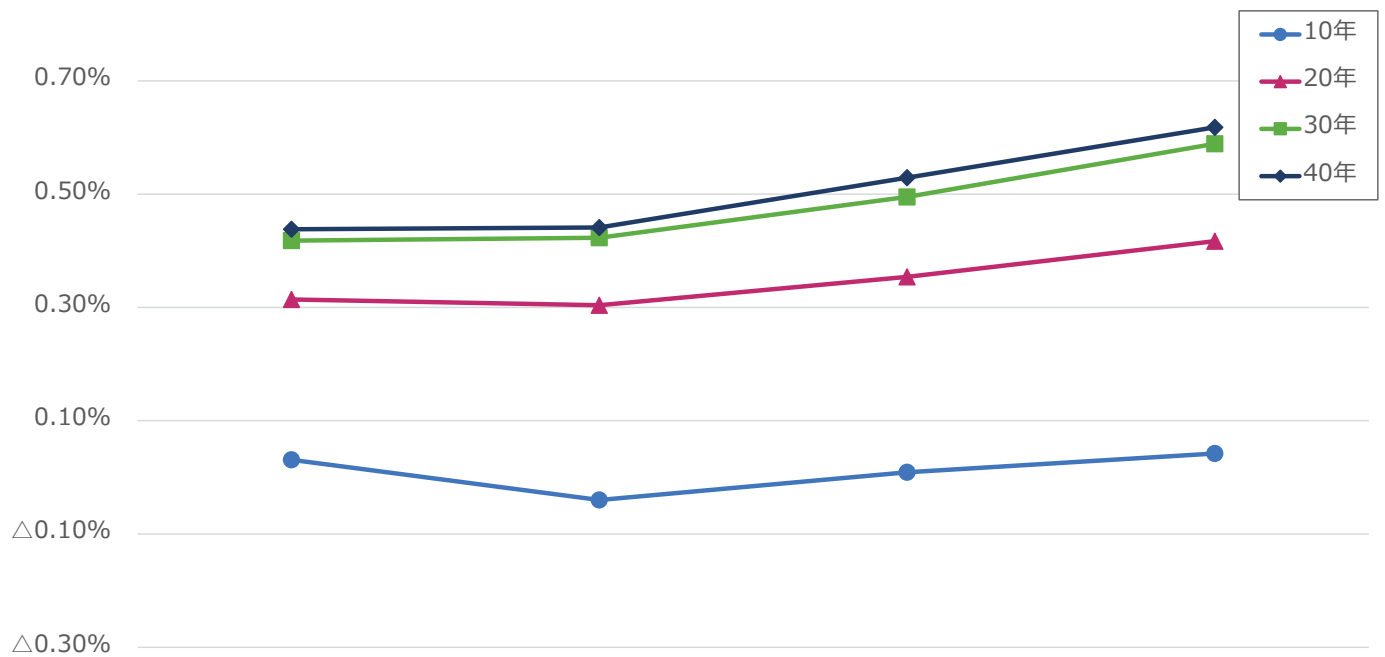
\* FY18.1Qは、個人年金保険、FY19.1QおよびFY20.1Qは個人保険、個人年金保険の合計

## ◆ソニーライフ・ウィズ生命およびSA Reinsuranceの四半期純利益 (△損失)

(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比
ソニーライフ・ウィズ生命	△4	△0	+3
SA Reinsurance	0	△21	△22

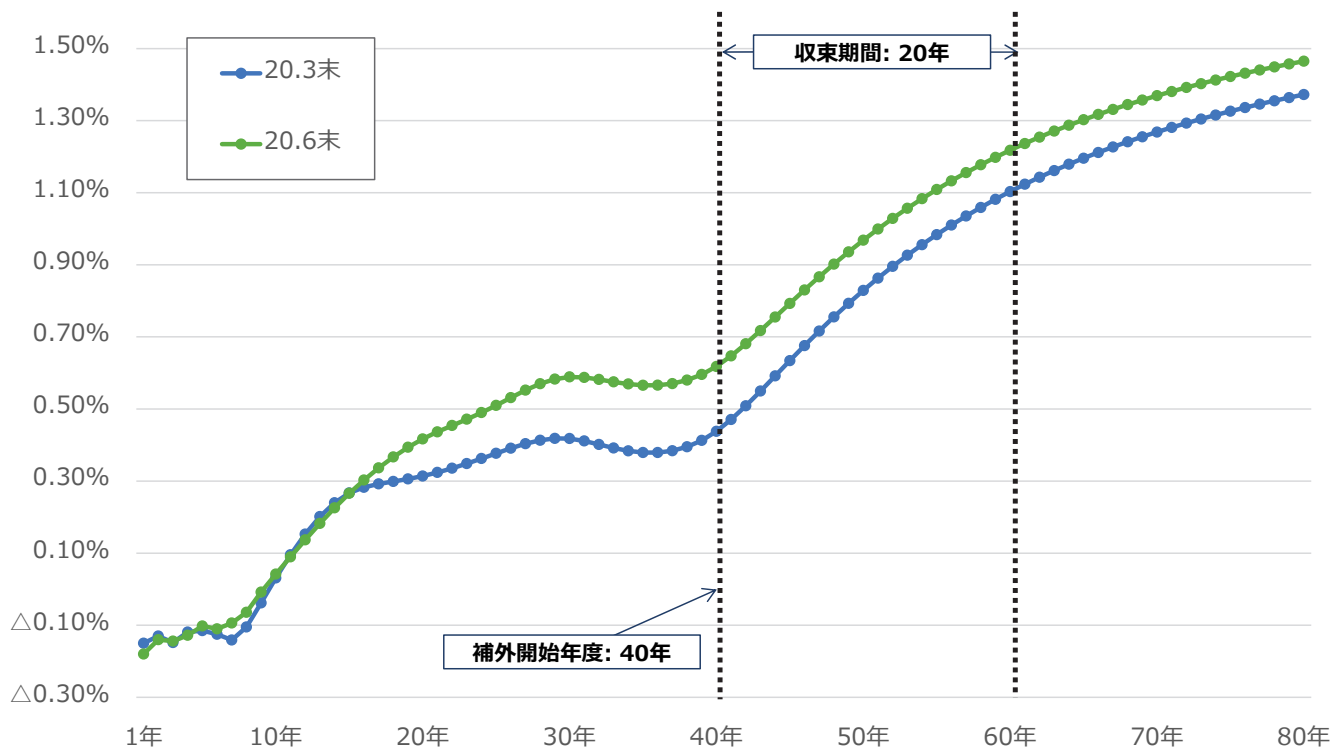
(注) ソニーライフ・ウィズ生命 (旧ソニーライフ・エイゴン生命) とSA Reinsuranceは、2020年1月29日付でSFHおよびソニー生命による完全子会社化が完了  
FY19.1Qは、SFHの親会社株主に帰属する四半期純利益には上記の金額に対する持分相当 (50%) を反映、SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠

# 日本国債レートの推移 (パーセント)



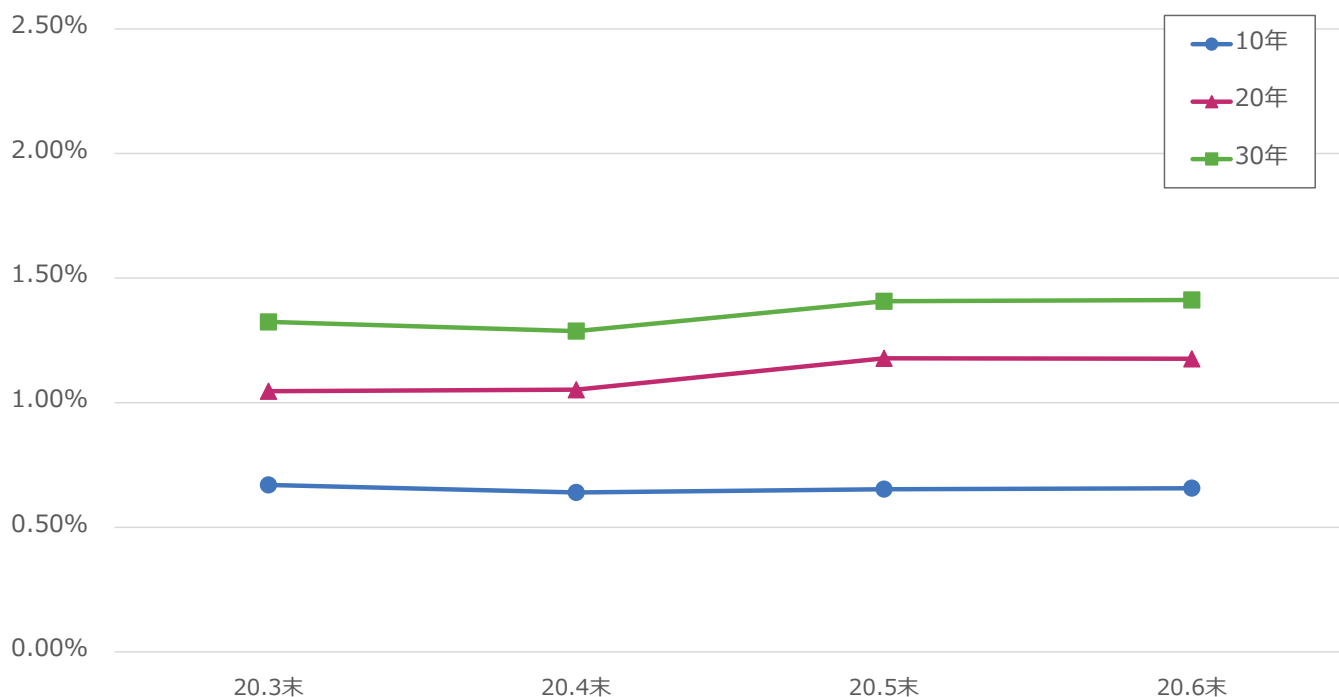
	20.3末	20.4末	20.5末	20.6末
10年	0.03%	△0.04%	0.01%	0.04%
20年	0.31%	0.30%	0.35%	0.42%
30年	0.42%	0.42%	0.50%	0.59%
40年	0.44%	0.44%	0.53%	0.62%

# リスクフリーレートの推移（日本円/パーセント換算）



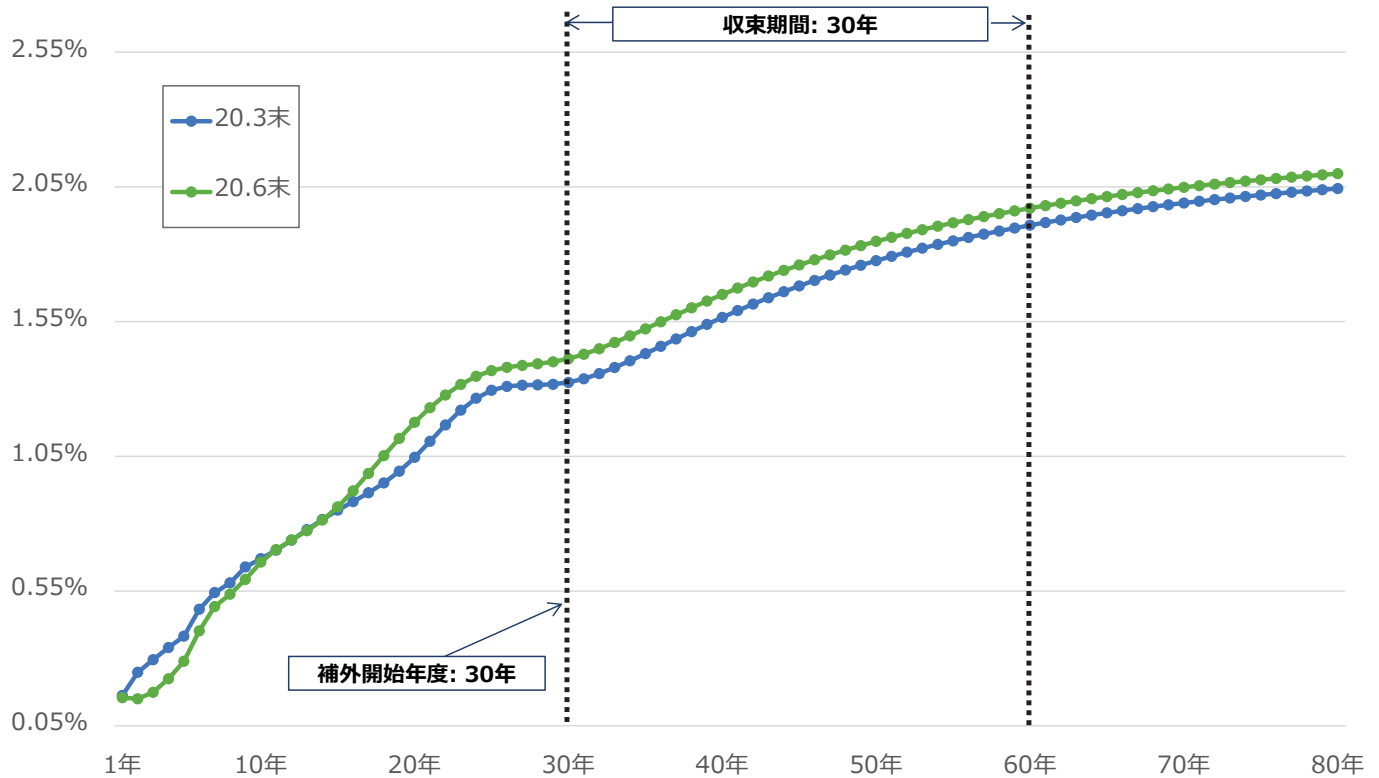
(注) 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利（3.5%）に収束するように、Smith-Wilson法により補外

# 米国債レートの推移（パーセント）



	20.3末	20.4末	20.5末	20.6末
10年	0.67%	0.64%	0.65%	0.66%
20年	1.05%	1.05%	1.18%	1.18%
30年	1.32%	1.29%	1.41%	1.41%

# リスクフリーレートの推移（米ドル/パーセント換算）



(注) 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利（3.5%）に収束するように、Smith-Wilson法により補外

## 連結：要約財務諸表

		(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比	
生命保険事業	経常収益		3,688	<b>4,917</b>	+1,229	+33.3%
	経常利益		260	<b>113</b>	△146	△56.4%
損害保険事業	経常収益		318	<b>353</b>	+34	+11.0%
	経常利益		38	<b>70</b>	+32	+82.3%
銀行事業	経常収益		119	<b>121</b>	+2	+2.2%
	経常利益		24	<b>23</b>	△1	△5.6%
その他*	経常収益		10	<b>13</b>	+2	+29.6%
	経常利益		△2	<b>△2</b>	△0	-
グループ連結	経常収益		4,136	<b>5,406</b>	+1,269	+30.7%
	経常利益		321	<b>204</b>	△116	△36.3%
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益		223	<b>131</b>	△92	△41.3%

\* 持株会社（連結財務諸表提出会社）、介護事業およびベンチャーキャピタル事業にかかる損益と内部取引調整  
FY19.2QよりSmartLink Network Europe B.V.、FY19.4Qよりソニーライフ・ウィズ生命およびSA Reinsuranceを含む

(注) 包括利益：FY19.1Q・・・255億円、FY20.1Q・・・203億円

		(億円)	20.3末	20.6末	前年度末比	
グループ連結	純資産		6,919	<b>6,818</b>	△101	△1.5%
	総資産		151,257	<b>156,877</b>	+5,620	+3.7%

## ソニー生命：要約財務諸表（単体）

(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比	
経常収益	3,688	<b>4,713</b>	+1,024	+27.8%
保険料等収入	3,014	<b>2,704</b>	△309	△10.3%
資産運用収益	643	<b>1,946</b>	+1,302	+202.4%
利息及び配当金等収入	435	<b>477</b>	+42	+9.8%
有価証券売却益	12	-	△12	△100.0%
特別勘定資産運用益	184	<b>1,468</b>	+1,284	+694.8%
経常費用	3,424	<b>4,577</b>	+1,152	+33.7%
保険金等支払金	1,094	<b>1,126</b>	+31	+2.9%
責任準備金等繰入額	1,689	<b>2,629</b>	+939	+55.6%
資産運用費用	167	<b>304</b>	+137	+82.3%
金融派生商品費用	15	<b>219</b>	+204	-
為替差損	133	<b>66</b>	△66	△49.9%
事業費	373	<b>407</b>	+33	+8.9%
経常利益	263	<b>135</b>	△127	△48.5%
四半期純利益	183	<b>91</b>	△92	△50.1%

(億円)	20.3末	20.6末	前年度末比	
有価証券残高	106,299	<b>109,855</b>	+3,555	+3.3%
責任準備金残高	99,598	<b>102,227</b>	+2,629	+2.6%
純資産	5,395	<b>5,171</b>	△224	△4.2%
その他有価証券評価差額金	1,250	<b>1,215</b>	△35	△2.9%
総資産	112,371	<b>115,939</b>	+3,568	+3.2%
特別勘定資産*	13,239	<b>15,129</b>	+1,889	+14.3%

(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比	
資産運用損益（一般勘定）	291	<b>172</b>	△118	△40.8%

\* 20.3末は、一般勘定貸（17億円）を含む

## ソニー損保：要約財務諸表・種目別保険引受の状況

(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比	
経常収益	318	<b>353</b>	+34	+11.0%
保険引受収益	312	<b>350</b>	+38	+12.2%
資産運用収益	6	<b>3</b>	△3	△51.3%
経常費用	279	<b>282</b>	+2	+1.1%
保険引受費用	209	<b>207</b>	△2	△1.0%
営業費及び一般管理費	70	<b>75</b>	+5	+7.2%
経常利益	38	<b>70</b>	+32	+82.3%
保険引受利益	32	<b>67</b>	+35	+107.2%
四半期純利益	27	<b>50</b>	+23	+83.8%

(億円)	20.3末	20.6末	前年度末比	
責任準備金残高	1,391	<b>1,443</b>	+52	+3.7%
純資産	377	<b>402</b>	+24	+6.4%
総資産	2,348	<b>2,382</b>	+33	+1.4%

## ◆ 元受正味保険料

(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q	増減率
火災	374	<b>952</b>	+154.3%
海上	-	-	-
傷害	2,277	<b>2,223</b>	△2.4%
自動車	27,695	<b>29,752</b>	+7.4%
自賠責	-	-	-
合計	30,347	<b>32,927</b>	+8.5%

## ◆ 正味収入保険料

(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q	増減率
火災	197	<b>543</b>	+175.3%
海上	-	<b>0</b>	-
傷害	2,244	<b>2,294</b>	+2.2%
自動車	27,621	<b>29,661</b>	+7.4%
自賠責	354	<b>368</b>	+3.9%
合計	30,418	<b>32,868</b>	+8.1%

## ◆ 正味支払保険金

(百万円)	FY19.1Q	FY20.1Q	増減率
火災	3	<b>19</b>	+497.1%
海上	△3	<b>0</b>	-
傷害	763	<b>804</b>	+5.4%
自動車	13,097	<b>11,598</b>	△11.4%
自賠責	323	<b>327</b>	+1.3%
合計	14,183	<b>12,750</b>	△10.1%

(注) 「傷害」には医療保険を含む

## ソニー銀行：要約財務諸表・格付け別有価証券残高

## ◆ 連結

(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比	
経常収益	119	<b>121</b>	+2	+2.2%
経常利益	24	<b>23</b>	△1	△5.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	<b>15</b>	△0	△5.8%

## ◆ 単体

(億円)	FY19.1Q	FY20.1Q	前年同期比	
経常収益	107	<b>107</b>	+0	+0.1%
業務粗利益	62	<b>66</b>	+3	+5.7%
資金運用収支	59	<b>62</b>	+2	+4.4%
役務取引等収支	△6	<b>△2</b>	+3	-
その他業務収支	8	<b>6</b>	△2	△24.7%
営業経費	41	<b>45</b>	+4	+11.4%
業務純益	21	<b>20</b>	△1	△5.8%
経常利益	21	<b>20</b>	△1	△5.9%
四半期純利益	15	<b>14</b>	△0	△6.0%

(億円)	20.3末	20.6末	前年度末比	
純資産	773	<b>851</b>	+77	+10.1%
その他有価証券 評価差額金	△102	<b>△7</b>	+95	-
総資産	30,794	<b>32,799</b>	+2,004	+6.5%

## ◆ 格付け別有価証券残高（単体）

(億円)	20.3末	20.6末	前年度末比	
AAA	3,081	<b>3,403</b>	+321	+10.4%
AA	674	<b>670</b>	△3	△0.6%
A	2,773	<b>3,119</b>	+345	+12.5%
BBB	289	<b>344</b>	+54	+18.9%
格付けなし	214	<b>229</b>	+15	+7.0%
合計	7,033	<b>7,767</b>	+733	+10.4%



お問い合わせ先：

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR部

TEL：03-5290-6500（代表）